

## 11. 谷太郎林道 (神奈川県中部)

谷太郎林道は、小鮎川の支流（谷太郎川）に沿って煤ヶ谷から不動尻までの明るい山道と緑濃い溪流の道です。林道に入る前に小鮎川への寄り道をお薦めします。ここではカワセミ・カワガラス・ホオジロ・カシラダカ・セグロセキレイ、時にはキジなどが観察できます。

向かいの華巖山の稜線や山裾も注意しましょう。シーズンには群れで飛ぶツグミの渡りやオオタカ・ノスリ等のワシタカ類が観察できます。水辺にひらひらと飛ぶカワトンボや雄の腹部が玉虫色に輝くミヤマカワトンボも観察できます。

いよいよ林道です。マス釣場への車が往来します、道幅が狭いので車に注意しながら探鳥しましょう。道端を注意して歩くと微笑ましい道祖神や馬頭観音の石造物があります。谷太郎川の水辺でキセキレイ・セ

グロセキレイ・ミソサザイ等のさえずりが迎えてくれます。梢ではオオルリを観察することも出来ます。森の中ではヤブサメ・ウグイス・センダイムシクイのさえずりが聞こえます。車の入れる林道の終点の駐車場ではルリビタキ・ジョウビタキが覗きに来てくれます。対岸の稜線ではツグミやチョウゲンボウ・ハイタカ等のワシタカ類が観察できます。

ここからは溪流の道です、丸太を組んだ橋を何回か渡ります。足元にはタチツボスミレ・ヤマドリソウ・フデリンドウが可憐に咲いています。

涼しげな声が聞こえて来ます、溪流の岩の上を見ると声の主のカジカガエルがチョココンと澄ましています。目を凝らして見ないと解りません。片側が崖になっていて鎖に掴まりながら歩くちょっとしたスリルを



谷太郎川

コースタイム 4時間

煤ヶ谷～谷太郎林道～不動尻～二の足林道～広沢寺温泉～広沢寺温泉入口

地形図：1:25,000 厚木、大山 案内図：丹沢（昭文社）

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

## 11.谷太郎林道（神奈川県中部）

味わえる場所もあります。注意して歩きましょう。対岸の上のほうからオオルリやクロツグミのさえずりが聞こえて来ます。ツツドリやホトトギスの声も山の中から聞こえます。

二の足林道の山の神トンネルは幅が狭くトンネル内にはライトが点灯していません。車が来ない時は真中を歩くことをお勧めします。この谷太郎林道探鳥地は、鳥の外に花やトンボ、蝶の観察、道祖神等の石造物も楽しめます。稀

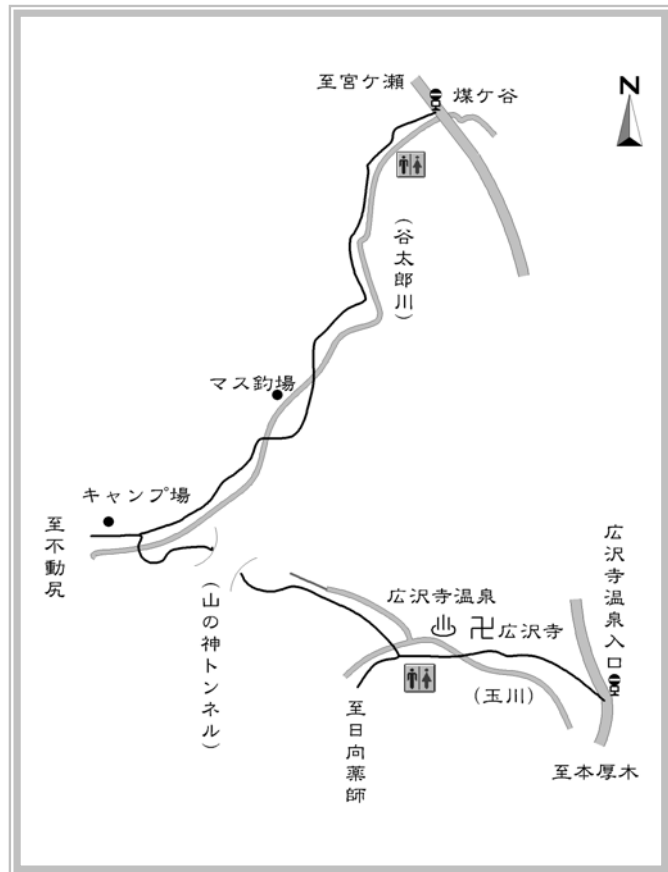


清流に棲むカジカガエル

に猿に逢うこともあります。

お勧めのシーズンは4~6月頃の留鳥に夏鳥が加わって賑やかになる頃です。帰りには広沢寺温泉の露天風呂で一汗流されることをお勧めします。

（佐久間紀雄）



### 観察できた鳥（1997年-2000年）（64種）

アオサギ・トビ・ハイタカ・オオタカ・サシバ・ノスリ・チョウゲンボウ・カルガモ・コジュケイ・キジ・イソシギ・キアシシギ・キジバト・アオバト・ツツドリ・ホトトギス・ヒメアマツバメ・カワセミ・コガラ・アカガラ・アオガラ・ツバメ・イワツバメ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・ヒヨドリ・モズ・カワガラス・ミソサザイ・カヤクグリ・ルリビタキ・ジョウビタキ・トラツグミ・クロツグミ・アカハラ・シロハラ・ツグミ・ヤブサメ・ウグイス・オオヨシキリ・センダイムシクイ・オオルリ・コサメビタキ・サンコウチョウ・エナガ・コガラ・ヒガラ・シジュウカラ・ヤマガラ・メジロ・ホオジロ・カシラダカ・アオジ・カワラヒワ・ベニマシコ・ウソ・シメ・イカル・スズメ・ムクドリ・カケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス

あし

- ・行き 小田急本厚木駅下車 神奈川中央交通バス 上煤ヶ谷/宮ヶ瀬湖行き 煤ヶ谷下車
- ・帰り 広沢寺温泉入口 神奈川中央交通バス 本厚木駅/伊勢原駅行き
- ・交通機関問い合わせ先：ページ117参照